

平成17年度、会津教育事務所では「学力向上」「不祥事根絶」「教育元年」を取組の重点とし、特に、「学力向上」に邁進することが、学校教育への信頼回復に直結するものとらえ、学校、教育委員会、教育事務所が連携を一層強め、実効ある取組を開することに努めてまいりました。



子どもたちの 「学力向上」のために

会津教育事務所 業務次長

芳賀忠夫

組状況について各校の校長先生及び教頭先生と話し合いをし、学力向上を図るために、特に次のことが重要であることを再確認し合ったところです。

- 分からなかつたり、で
きなかつたりした子ども
には必ず早めの手当をし
て分かるよう、できるよ
うにし、問題を先に持ち
越さないようにする。
- 分かって、できた子ど
もについては、学習活動
の足踏みをさせないよう
にし、さらに分かるよう、
できるようにする。

「長期休業日の活用」「家庭学習の習慣化」など、年間を通じた学校全体としての取組の視点を明確にし、具体策を打ち出すことが必要であると考えます。

場、時間、内容、方法、指導者等をどうするか。」など、多くの問題点をクリアーすることについて学校全体で検討することが大切です。そして、例えば、「日課表運用の工夫」「形成的評価とフィードバックの工夫」「協同で行う学習指導」「放課後ににおける補充的、発展的な指導」

各学校では、既にこのことに取組まれているとは思いますが、取組を実効あるものとするためには、授業時間内はもとより、授業時間外においても「指導の



2006.3.15
第129号

福島県教育庁
会津教育事務所
編集協力
小・中学校長会
発行
福島県市町村会議
教連協議会
北耶兩会
福島県教育連絡会
会津支会
会会
支会
支会

各種受賞紹介

金華府志

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ・文部科学大臣表彰
・教育者表彰 | 会津若松市立譲教小学校長
佐藤 晃 |
| ・共同調理場 | 河東町学校給食センター |
| ・優良公民館 | 熱塩加納村公民館 |
| ・優良P.T.A | 県立会津養護学校父母と教師の会 |
| ・生涯スポーツ功労者 | 生涯スポーツ功労者 |
| ・生涯スポーツ優良団体 | 生涯スポーツ優良団体 |
| ・体育指導委員功労者 | 全会津剣道連盟 |
| ・元熱塩加納村教育委員会教育長 | 新宮地区重要文化財保存会 |
| ・会津若松市立第三中学校長 | ○県文化振興基金顕彰 |
| ・会津若松市立城西小学校長 | ○県文化功労賞 |
| ・柳津町中央公民館長 | ○県文化振興基金顕彰 |
| ・保健体育功績顕著な団体・施設 | ○県文化功労賞 |
| ・会津若松市立城北小学校長 | ○県文化功労賞 |
| ・山都町立山都第二小学校長 | ○県文化功労賞 |
| ・山都町立山都第二小学校長 | ○県文化功労賞 |
| ・湯田 一秋 | ○県教育委員会表彰 |
| ・佐藤 明義 | ・地方教育行政功労者 |
| ・井上 祐悦 | ・元熱塩加納村教育委員会教育長 |
| ・小林 正守 | ・角田 伊一 |
| ・高橋 耕喜 | ・古川 利意 |
| ・伊一 | ・高橋 耕喜 |
| ・喜多方市立松山小学校長 | ・喜多方市立松山小学校長 |
| ・菅野 望 | ・菅野 望 |
| ・(学校林業活動の部 小学校) | ・(学校林業活動の部 小学校) |
| ・森林組合連合会会長賞 | ・森林組合連合会会長賞 |
| ・高郷村立高郷第二小学校長 | ・高郷村立高郷第二小学校長 |
| ・緑化推進委員会理事長賞 | ・緑化推進委員会理事長賞 |
| ・会津若松市立凌小学校長 | ・会津若松市立凌小学校長 |
| ・(学校環境緑化の部 小学校) | ・(学校環境緑化の部 小学校) |
| ・緑化推進委員会会長賞 | ・緑化推進委員会会長賞 |
| ・会津高田町立水井野小学校長 | ・会津高田町立水井野小学校長 |
| ・緑化推進委員会理事長賞 | ・緑化推進委員会理事長賞 |
| ・山都町立山都第二小学校長 | ・山都町立山都第二小学校長 |
| ・都市公園・緑化協会理事長賞 | ・都市公園・緑化協会理事長賞 |
| ・猪苗代町立月輪小学校長 | ・猪苗代町立月輪小学校長 |
| ・優秀教職員の部 | ・優秀教職員の部 |
| ・特別功労者 | ・特別功労者 |
| ・会津若松市立越城小学校長 | ・会津若松市立越城小学校長 |
| ・佐藤 信一 | ・佐藤 信一 |
| ・照美 | ・照美 |
| ・山口アキ子 | ・山口アキ子 |
| ・田中 | ・田中 |
| ・新鶴村学校給食センター | ・新鶴村学校給食センター |
| ・喜多方市立松山小学校長 | ・喜多方市立松山小学校長 |
| ・藤田 信一 | ・藤田 信一 |
| ・喜多方市立松山小学校長 | ・喜多方市立松山小学校長 |
| ・嘉多 | ・嘉多 |

研究実践校の取組紹介

「豊かな心を持ち、共に考え、よりよく生きる力を育てる道徳教育」

会津美里町立
新鶴小学校

文部科学省より児童生徒の心に響く道徳教育推進事業の2年間の地域指定を受け、本校では、体験活動と道徳の時間の関連を図りながら、次のような実践研究に取り組みました。

1 体験活動と道徳の時間の関連

各教科、特別活動及び総合的な学習の時間など学校教育全体の場でどのような体験活動を実施することができるかを計画し、それぞれの体験活動と道徳の時間について関連表にまとめました。その結果、各学年における重点目標に関わる重点内容を深めながら活動できるようになりました。



役割演技で主人公の気持ちを考える子どもたち

2 ゲストティチャーの活用

道徳の時間や総合的な学習の時間に地域の方にゲストティチャーとして参加していただくことにより、児童が興味を持ってより深く考えたり、感動したりする姿が見られました。



稲刈りをする子どもたち

3 地域との連携

「心の教育地域推進委員会」の開催や道徳だよりの発行などを通じて、家庭や地域とのつながりが深くなり、地域の中で子どもたちを心豊かに育てていこうという意識が高まりました。

学校教育相談事業だより

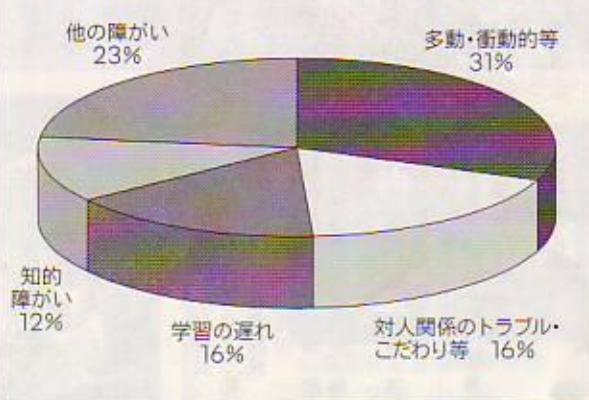
・ 特別支援教育 巡回相談の活用を！

今年度の会津地区における巡回相談件数は、12月末現在225件となっています。

- 支援対象者の問題別状況は、図のとおりです。
- 多動や衝動的な行動の多い児童生徒への対応は、得意な分野を伸ばすなどして、自己評価を下げないようにさせること。
 - 対人関係のトラブルやこだわりの多い児童生徒に対しては、視覚を活用した丁寧な指示や、社会生活上必要なスキルの学習を進めること。などを基本とした指導を心がけてください。
 - 今後も、巡回相談を活用し、適切な指導や校内支援体制の確立を図ってください。
- ※ 巡回相談の申し込みは、下記電話番号へお願いします。

「支援対象者の問題別状況(会津管内)」

(平成17年12月現在)



☎0242-29-5486 または 0120-899-714(フリーダイヤル)

お知らせ 学校教育指導委員の実践事例集で授業の活性化を

県指名の学校教育指導委員のみなさんの実践事例集を発行しました。指導委員の皆さんかそれぞれの教科や領域で取り組んできた実践が紹介されています。授業をはじめ、各種教育活動の充実のために活用してください。

【掲載内容】

各教科（音楽、図画工作（美術）、技術、家庭）、道徳、特別活動、特別支援教育、生徒指導、学校体育、学校保健



心に残る人々

会津美里町教育委員会教育長

新國 正明

私の教員生活のスタートは、昭和37年只見中学校であった。3月、雪崩を心配しながら着いた校舎は雪の中、でも迎えてくださった先生方はなんとあたたかかったことか、ほっとした。

柔軟なメガネのK先生の右手人差し指には鉄筆のタコがあり、その手から生み出されるロウ原紙の文字・絵は芸術作品で、国語担当のその先生は「本が1万冊貯まるまでは結婚しない」と宣言し、下宿の二階が抜けないかと職員室の先生方は心配した。

その後「ボーナスは本屋の支払いに使うくらいでなければ教師失格だ」の言葉に、影響されやすい私は無理して、月1冊の割で発刊される平凡社の百科事典を注文、続いて隔月発刊の書道全集を注文し、毎月の給料日には田島の本屋さんに喜ばれた。利用もしたが、40年経った今も背表紙に虫食いの勲章を付けて本棚の最下段に鎮座ましまして。

それにしてもK先生から発せられるなんとも豊かな意表をつく言葉の面白さには笑わされ、心をゆさぶられた。授業は当然に、深い教材解釈に裏打ちされ、生徒にとって正しく魅力溢れるものであった。無限に広がる本の世界、今、IT社会と言われる時代だからこそ活字文化をまずしっかり体験させたいと、その時々に、先生が思い出される。

今、K先生は、どんな本をお読みだろうか？

地域に学ぶ

会津藩を支えた繁栄の証

「軽井沢銀山溶解炉の大煙突」

柳津町教育委員会

町役場より東南方へ約9kmほど、銀山峠の東斜面に高さ25メートルの赤レンガ煙突が見えます。

永禄元年(1558年)、地元軽井沢の松本左文治によって発見された「軽井沢銀山」の栄華の跡です。この銀山が盛んな頃は、会津三代藩主松平正保の時代であり、日産30貫から40貫の銀の产出があり藩の運営にも大きく貢献しました。よい鉱脈にあたり、銀山の賑わいはかつてないもので、当時は従業員宿舎だけでも千軒余りもありました。

明治19年に建てられたこの煙突では、「オーガスチン工法」により溶解精錬がなされ、日産80貫の生産量を誇り、半田銀山に次ぐ名山として知られていました。その熱源として、周囲十里四方の山々の木々が切り倒され禿山になったと言われています。

明治20年には、昼夜3交代制のため、湯八木沢の水力発電所からの電力でアーク灯をつけ、不夜城と化し、その明かりは会津盆地の各地から見え、見物客まで押し寄せたそうです。会津若松市に点灯したのは、明治34年と言われていることから、その驚きは大変なものであったことでしょう。

しかし、この銀山の盛衰の歴史は、労働者の多く

が農夫だったことから、大飢饉との歴史であり、慶長年間の東北大飢饉や天明の大飢饉などにより幾度となく休山を繰り返しました。

しかし、膨大な資金を投資し近代化したこの鉱山も、銀価格の大暴落により明治29年には銀の採鉱が中止となりました。その後、昭和58年頃、再開発に向けて作業が行われましたが、本格的な再開には至りませんでした。

今、この地に立ち当時を偲ばせてくれるのは、天にそびえる、この煙突とすり山だけです。



軽井沢銀山溶解炉の大煙突

私の抱負

高校



会津学鳳高校 教諭 高木 靖

未知の世界の扉を開けるような、期待と不安が交錯する中で学鳳の門をくぐってから10ヶ月。中学校での経験を生かした指導とはどうあるべきかを考えながら英語の指導や生徒指導に取り組んでいます。

特に、新入生が高校の英語で最初に戸惑いを感じる2つの変化（1単位時間で扱う語彙数の大幅な増加と文法指導にかける比重の違い）に対して、彼らと同じ目線でその解決を手助けしながら、活動量の多い授業を工夫していきたいと思います。また本校では、個別指導がよく行われています。その様子に感動するとともに、私も積極的に関わっていこうと考えています。

中高一貫校開設の準備など、今年もやるべきことがたくさんあり、毎日が新鮮で充実したものになるだろうと期待しています。

中学校



会津若松市立第一中学校 教諭 野中 齊

○高校から中学校へ異動して早10ヶ月が経ちました。元気で人懐っこい生徒たちや、いつも親切にサポートして下さる職場の皆様のお陰で大変充実した毎日を送っています。

特に教科指導においては、一から英語を教えることの楽しさを体験できたり、中一から高三までの英語を系統立てて授業を考えるようになつたりと、以前より広い視野を身につけることができました。

中学校は高校よりも生徒間の学力差が大きく、「話す・聞く」に比べ「書く」力が弱いと感じています。今後は、個に応じた指導やライティング能力を向上させる指導について研究を深め、さらに、中高の英語教育においてより良い連携が図れるよう研修を充実させていきたいと思います。

小学校



会津若松市立城北小学校 教諭 山口 功

研修交流派遣で中学校より小学校に赴任して早、10ヶ月が過ぎようとしています。目を輝かせ、学習に遊びに元気に取り組む城北っ子とエネルギッシュな先生方の中で、私はと言えば……正直一日一日を何とか乗り越えてきたという感じでした。

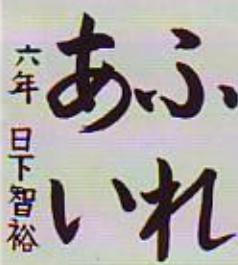
力のなさを感じつつ、各教科の教材研究、子どもたちに寄り添った児童理解とそれに基づいたきめ細かな指導など小学校の現場を経験して改めて学ばせていただいています。

このような私ですが、子どもたちが抵抗やつまずき（中1プロブレム）なくスムーズに中学校に適応し、伸び伸びと自己実現が図れる小中連携の一助となれるよう、「自ら自分を磨く」城北魂で実践を積み重ね、力をつけて戻れるようにしたいと思います。

作品と指導

習字

「ふれあい」

6年 下智裕
磐梯町立磐梯第二小学校

行の中心を意識させながら、ひらがなの筆使いを指導しました。特に、軽い始筆、線の丸みを理解させ、練習させました。また、「はね」のある文字は、筆脈を考えさせ、「はね」の方向にも注意させました。本作品は、筆使いよく書けました。

指導者 目黒智子

工作

「すいぞくかんがつまつたバッグ」

2年 鈴木友茄
会津美里町立高田小学校

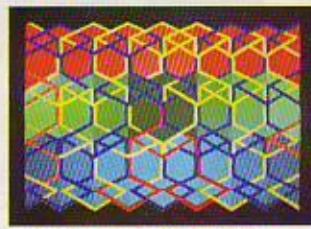
大好きな水族館をバッグに入れて持ち歩きたい、という友茄さんの思いを大切にして指導にあたりました。

バッグのふたを開けると、ビニールテープの青い海の中を、色とりどりの魚たちが楽しそうに泳いでいる夢の空間が表現されました。

指導者 佐藤信野

平面デザイン

「脱出」



北塩原村立裏磐梯中学校

3年 小瀧 唯

リビテーションを基本として構成した作品です。作者は輪郭の色を微妙に変化させ、だまし絵的な要素も作品の中から感じ取れるように工夫を凝らしています。色調の変化による形のおもしろさに努力の跡が見られます。

指導者 長沼貞子